

	シーズ名	子ども家庭福祉、ソーシャルワーク教育
	氏名・所属・役職	中島 尚美・生活科学研究科・特任講師
<p>&lt;概要&gt;</p> <p><b>1. 子ども家庭福祉分野における研究</b></p> <p>子ども家庭福祉領域において、地域を基盤としたソーシャルワーク実践理論をベースとして、研究を行っている。特に、「社会的養護」に焦点化し、その中でも「母子生活支援施設」における予防強化型ソーシャルワーク実践モデル構築を目指している。</p> <p>現在、平成 26 年～28 年度、科学研究費助成事業研究基盤C「母子生活支援施設における予防強化型ソーシャルワーク実践モデル構築に関する研究(研究代表: 中島尚美)」に邁進しているところである。本年度は先駆的な実践を行っている母子生活支援施設職員を対象とした調査を中心に実施する予定である。</p> <p><b>2. ソーシャルワーク教育の関する研究</b></p> <p>福祉分野の人材育成としてのソーシャルワーク教育、特に社会福祉士養成課程における実習先である社会福祉実践現場との協働を核とした研究を進めている。</p> <p>&lt;アピールポイント&gt;</p> <p>児童福祉法に位置づけられた母子生活支援施設は、親と子が唯一ともに生活することができる児童福祉施設である。入所理由の半数以上を占めるDV被害者の母親と、目前DVの被害者である子どもたちのセーフティネットとして大変重要な役割を担っていることになる。2011年に国によって、とりまとめられた「社会的養護の課題と将来像」において、整備されたガイドラインやハンドブック、将来に向けてのビジョンが揃った今、ここから地域を基盤としたソーシャルワークの理論をベースとした、実践モデル、特に負の連鎖を断ち切り、さらに退所後の地域における生活の安定を目指した予防強化的な積極的なアプローチにつながる研究が求められている。</p> <p>&lt;利用・用途・応用分野&gt;</p> <p>&lt;関連する知的財産権&gt;</p> <p>&lt;関連するURL&gt;</p> <p>&lt;他分野に求めるニーズ&gt;</p>		
キーワード	子ども家庭福祉、社会的養護、母子生活支援施設、ソーシャルワーク教育	